

～令和元年度事業報告書～

I. 地域で自立生活できる支援づくり

1. 総合相談システムの充実

(1) 専門分野の相談事業

日常生活における市民の相談に対し、民生委員児童委員や介護支援専門員、社会福祉士等の専門職による相談体制の充実を図り、「心配ごと相談」、「介護相談」等を実施しました。

①心配ごと相談

- 民生委員による心配ごと相談を月2回実施しました。

相談件数：0件

- 社協で開設している「福祉と暮らしの相談窓口」では、住民の生活や福祉についてのアドバイスや情報提供を行うとともに、必要に応じて専門の機関につなげました。

相談件数：31件

ボランティア相談：2件	生活福祉相談：12件
福祉学習相談：1件	その他：16件

②介護相談

町からの受託事業である地域包括支援センターにおいて、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師により総合相談支援業務を行いました。

- ・総合相談：延べ2,924件

(訪問：1,429件、電話1,386件、来所：109件)

- 介護のつどい

開催日	場所	内容
11月 9日(土)	健康福祉センター	テーマ：認知症予防講談～ボケちやいないよ～ 講師：講談師 神田 織音 氏 参加者：44名

2. 地域で生活するためのサービスの提供

(1) 紙おむつ・尿とりパット給付事業

低所得世帯の在宅で寝たきりになっている高齢者等を対象に、紙オムツ、尿とりパットを給付しました。

登録者数：5名

給付回数：延べ20回

(2) 移送サービス事業

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や障がいのある方の外出時の利便を図るため、病院等への送迎を実施しました。

実利用者数：15名～22名/月

稼働回数：延べ370回

(3) 給食サービス事業

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、ボランティアグループ「ふきのとう老人お楽しみ会」の協力を得て、月2回バランスのとれた食事を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるため実施しました。しかし、10月は台風19号で1回、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止となりました。

実施回数：18回

実利用者数：16名～21名/月

食数：延べ327食

(4) 配食サービス事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に、調理済みの食事（夕食）を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるため実施しました。

実利用者数：18名～26名/月

配食数：延べ3,034食

(5) 理容・美容サービス事業

在宅の寝たきりの高齢者の方や理容店・美容院の利用が困難な障がい児者を対象に、町の理美容店の協力を得て、自宅に出張して散髪を実施しました。

登録者数：2名

利用回数：延べ2回

(6) 見守りネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者等を地域全体で見守っていくため、介護・福祉・医療・行政機関だけでなく、各団体や商店、金融機関等へポスターやチラシを置かせていただくなど呼びかけを実施しました。

(7) レスパイトサービス事業

障がい児者が、施設や学校の長期休暇中にレスパイト事業を実施している団体（まるやまわかくさの会）に対して、事業への支援を実施しました。

開催日	場所	内容
7月30日（火）	新江ノ島水族館	参加者：26名

(8) 高齢者等の生きがい事業

高齢者が誰でも自由に参加して自分自身の生きがいと楽しい仲間を見つける場として「いきいきサロン」を開催しました。また、高齢者の健康づくり推進事業として「ニコニコ健康体操」を開催しました。しかし、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

●いきいきサロン（月1回実施）

場 所：健康福祉センター

実利用者数：12名～18名/月

●ニコニコ健康体操

・火曜日コース（月2回）

場 所：健康福祉センター

実利用者数：30名～35名/回

・水曜日コース（月2回）

場 所：健康福祉センター

実利用者数：35名～40名/回

・出張版（年1回）

対 象：老人クラブ及び希望者

実 施 日：10月28日から11月11日のうち5日間

場 所：町内5地区の集会施設

参 加 者：91名

3. 福祉サービス利用支援と質の向上

(1) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない高齢者や障がいのある6名の方に対し、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きの援助などを実施しました。

身体障害者：2名	知的障害者：1名
精神障害者：0名	認知症高齢者：3名

(2) 成年後見制度・権利擁護事業の検討

足柄上地区社会福祉協議会連絡会の権利擁護事業担当職員会議において、権利擁護事業の広域展開について検討するとともに、伊勢原市成年後見・権利擁護推進センターにおいて取り組みについて視察研修を実施しました。

(3) 第三者委員による苦情解決窓口

利用者からの苦情等がなかったため、会議等は開催しませんでした。

II. 共に支え合う社会づくり

1. 地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動の支援

地区（住民）福祉協議会（町内8地区）へ助成金を配分し、活動を支援しました。

- 地区福祉協議会助成金 2,300,000 円

助成金の内訳：町 1,700,000 円、社協 600,000 円
人口比、会費徴収比により各地区の配分額を決定

- 地区在宅支援活動費：280,000 円

（活動費の内訳 35,000 円×8 地区）

(2) 地区社協の活動の広報

山北町健康福祉センター西側通路に、地区（住民）福祉協議会の福祉活動の広報掲載ができるコーナーを設け、町民の皆さんの目にとまるようにしました。

2. 小地域福祉活動の充実

(1) 小地域サロン活動への支援

小地域サロン実施団体へ助成金を交付し、活動を支援しました。

交付団体：8団体

交付金額：223,000円

(2) 福祉講演会等の開催

- 役員合同研修会

足柄上地区社協連絡会・西湘地区社協連絡会の共催で開催しました。

開催日	場所	内容
12月 6日（金）	開成町福祉会館	テーマ：命と暮らしを支える地域福祉のいまとこれから 講師：高島さち子 氏（元県社協地域福祉部長） 参加者：7名（山北町社協役員）

- 地域福祉実践交流会

地区社協の役員を対象に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(3) 支え合いサービス事業の検討

支え合いサービス事業を実践している他市町の社会福祉協議会を調査し、実施内容等について検討しました。

3. 福祉団体の支援

(1) 福祉団体への助成金交付

町内にある各福祉団体の福祉活動事業に対し、助成金を交付しました。

団体名	助成金
山北町老人クラブ連合会	250,000円
まるやまわかくさの会	30,000円
足柄上郡手をつなぐ育成会山北支部	30,000円
NPO法人KOMNY地域作業所やまなみ工芸	30,000円
ともしびショップさくら	200,000円

(2) 福祉団体活動の活性化を促す協働事業

①世代間交流事業

- ポッチャで遊ぼう（老人クラブ連合会・一般社団法人「あすぽ」共催）

高齢者と子どものふれあいを目的として開催しました。

開催日	場所	内容
2月16日（日）	健康福祉センター	ポッチャ（お昼は七草粥） 参加者：47名

- 収穫祭〔ミニトマト・いも掘り〕（老人クラブ連合会の協力）

老人クラブ連合会の園芸部が、「生きがい農園」で栽培した、さつまいもやミニトマトを、やまきたこども園の園児に収穫してもらいました。

なお、さつまいもは5月に園児と一緒に苗さしをしました。

開催日	場所	内容
7月17日（水）	生きがい農園	ミニトマト収穫（参加者：9名）
8月1日（木）	生きがい農園	ミニトマト収穫（参加者：18名）
10月24日（木）	生きがい農園	さつまいも収穫（参加者：35名）

②ともしびショップ「さくら」の支援

健康福祉センターに職員2名を常駐し、運営等の支援を行いました。

③やまぶき学級

「健康で明るく生きがいをもって高齢社会を生きる」ことを目的として、町福祉課、生涯学習課との共催で開催しました。

開催日	場所	内容
10月11日(金)	生涯学習センター	<開講式> 講演 ～幸せに生きること～ 社会教育指導員 加藤 陽一郎 氏
10月18日(金)	生涯学習センター	講話 ～高齢者の交通安全・詐欺や悪徳商法～ 松田警察署交通課及び生活安全課職員
10月25日(金)	生涯学習センター	実技 ～しなやかな心と体づくりのための健康 体操～ 神奈川健康財団健康運動指導士 高垣茂子 氏
11月 1日(金)	昭和天皇記念館 深大寺	バスを利用した施設見学
11月 8日(金)	生涯学習センター	芸術鑑賞 ～日本の大道芸～ 大道芸研究会 <閉講式>

※参加者人数：63名（延べ230名）

④民生委員・児童委員活動との協働

月に1回行われる定例の民生委員・児童委員連絡協議会へ必要時に出席し、活動の協働を図りました。

4. 福祉人材の育成と確保

(1) ボランティアの発掘と登録

町内のボランティア団体の活動について、町社協広報紙（社協やまきた）に掲載するとともに、ボランティア活動への参加を呼びかけました。

5. ボランティアセンターの充実

(1) ボランティア活動保険への加入促進

町内在住のボランティアに対し、保険料と同等額を助成して、ボランティア保険の加入手続きを行いました。

加入者数：213名 助成額：39,880円

(2) ボランティア団体活動補助金の適切な交付

町社協へ登録しているボランティアグループの活動に対し、助成を行いました。

- ◆ボランティア連絡協議会助成 190,000円
- ◆ボランティアグループ助成（6グループ） 265,800円

(3) 災害時における救援ボランティアの体制整備

災害ボランティアセンターの基本的な役割や被災地の状況、災害時のボランティアの役目等を学び、災害時の活動につなげることを目的に松田町社会福祉協議会と共催で開催しました。

開催日	場所	内容
2月 6日(木)	松田町 健康福祉センター	台風19号豪雨災害に伴うボランティア活動について 小田原市社会福祉協議会 事務局次長 秋山浩樹 氏 松田町・山北町が被災したら～防災計画と被害想定～ 松田町福祉課 課長 椎野晃一 氏 山北町総務防災課 主査 稗田裕文 氏
2月13日(水)	山北町 生涯学習センター	演習「災害ボランティアセンターの設置と運営の机上訓練～ボランティアによる運営スタッフの役割を学ぶ～」 松田町・山北町社会福祉協議会職員

※参加者数： 6日（山北町12名、松田町12名）
13日（山北町23名、松田町 5名）

(4) 災害ボランティアセンター合同研修会

災害ボランティアセンターの役割を学ぶ機会として開催された足柄上地区社協連絡会の「災害ボランティアセンター担当職員等研修会」に参加しました。

開催日	場所	内容
9月19日(金)	山北町社会福祉協議会	講 義：災害ボランティアセンターの役割 講 師：神奈川県共同募金会事務局長 中島 孝夫 氏 訓 練：山北町社協のマニュアルを用いた机上 訓練を実施 参加者：会長と社協職員4名

(5) 災害ボランティアセンターに関する相互支援協定

2月25日(火)、山北町社会福祉協議会において足柄上地区1市5町と西湘地区1市3町の社会福祉協議会との間で、「災害時災害ボランティアセンターに関する相互支援協定」を締結しました。

この協定は、県西地区2市8町という広域の枠組みの中で、万が一の事態の際に職員と資機材を柔軟に融通し合うことを目的としています。

6. 福祉教育の推進

(1) 福祉体験学習

●高齢者施設での体験学習（対象：山北中学校の生徒で希望者）

次代を担う子供たちの福祉への理解や関心を高めることを目的とし、夏休み期間を利用してすずらん・アミーゴ、グループホームやまきた、あずみ苑山北、バーデンライフ山北の4施設で、1日コースの施設実習を実施しました。

また、体験学習を円滑に進めるため、高齢者と接するときの心構えやマナー、車椅子の操作方法や誘導方法等を学ぶ事前オリエンテーションを山北中学校にて開催しました。

開催日	場 所	参加人数
7月30日（火）	すずらん・アミーゴ	2名（3年生：女子）
8月 2日（金）	グループホームやまきた	5名（3年生：女子）
8月 5日（月）	あずみ苑 山北	4名（3年生：女子2名、2年生：女子1名、男子1名）
8月17日（金）	バーデンライフ山北	4名（2年生：女子3名、男子1名）

●ボランティアによる講座（対象：山北中学校3年生全員）

中学校の福祉教育に協力するため、ボランティアを派遣し、「車椅子講座」、「点字講座」、「手話講座」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

Ⅲ. 組織・事務局体制の整備

1. 組織体制の強化

(1) 理事会、評議員会、各種部会の定期的開催

①正副会長会

理事会、評議員会が円滑に行えるよう、事前に会長、副会長、事務局で主要な会議の議案についての打ち合わせを3回開催しました。

②理事会・評議員会・監事会

●理事会：執行機関である理事会を5月、6月、12月に開催しましたが、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面による決議となりました。

開催日	会場	内容																		
5月18日（金）	社協会議室	<table border="1"> <tr> <td>議 案</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第1号</td> <td>平成30年度事業報告について</td> </tr> <tr> <td>第2号</td> <td>平成30年度一般会計決算について</td> </tr> <tr> <td>第3号</td> <td>定款の一部改正について</td> </tr> <tr> <td>第4号</td> <td>配食サービス事業実施要綱の一部改正について</td> </tr> <tr> <td>第5号</td> <td>評議員候補者の推薦について</td> </tr> <tr> <td>第6号</td> <td>評議員会の招集について</td> </tr> <tr> <td>報 告</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第1号</td> <td>会長の職務執行状況について</td> </tr> </table>	議 案		第1号	平成30年度事業報告について	第2号	平成30年度一般会計決算について	第3号	定款の一部改正について	第4号	配食サービス事業実施要綱の一部改正について	第5号	評議員候補者の推薦について	第6号	評議員会の招集について	報 告		第1号	会長の職務執行状況について
議 案																				
第1号	平成30年度事業報告について																			
第2号	平成30年度一般会計決算について																			
第3号	定款の一部改正について																			
第4号	配食サービス事業実施要綱の一部改正について																			
第5号	評議員候補者の推薦について																			
第6号	評議員会の招集について																			
報 告																				
第1号	会長の職務執行状況について																			

開催日	会場	内容
6月12日(水)	社協会議室	議案 第1号 会長及び副会長の選定について 第2号 部会の構成について 第3号 評議員選任・解任委員会委員の選任について
12月11日(水)	社協会議室	議案 第1号 令和元年度一般会計補正予算について 第2号 嘱託職員及び非常勤職員の雇用等に関する就業規程の一部改正について 第3号 山北町地域包括支援センターの業務に携わる嘱託職員及び非常勤職員の活動及び賃金等に関する要綱の一部改正について 第4号 評議員候補者の推薦について 第5号 評議員会の招集について 第6号 顕章規程による顕章者の決定について 第7号 福祉スローガンの決定について 報告 第1号 第5回社会福祉大会について 第2号 会長の職務執行状況について
3月(書面決議)		議案 第1号 令和2年度事業計画について 第2号 令和2年度一般会計予算について 第3号 在宅ねたきり老人等介護用品給付事業運営要綱の一部改正について 第4号 給食サービス事業実施要綱の一部改正について 第5号 評議員会の招集について

●評議員会：議決機関である評議員会を6月、12月に開催しましたが、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面による決議となりました。

開催日	会場	内容
6月12日(水)	社協会議室	議案 第1号 平成30年度事業報告について 第2号 平成30年度一般会計決算について 第3号 定款の一部改正について 第4号 役員のについて

開催日	会場	内容
12月20日(金)	社協会議室	議案 第1号 令和元年度一般会計補正予算について 第2号 定款の一部改正について 第3号 役員の選任について 報告 第1号 顕彰規程による顕彰者の決定について 第2号 福祉スローガンの決定について 第3号 第5回社会福祉大会について
3月(書面決議)		議案 第1号 令和2年度事業計画について 第2号 令和2年度一般会計予算について

●監事会：社協事業の実施状況、会計を監査する監事会を開催しました。

開催日	会場	内容
5月10日(金)	社協会議室	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度一般会計決算書について

③理事の担当制による部会

企画総務部会、事業推進部会については、案件がないため開催しませんでした。

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選任を行うため、委員会を2回開催しました。

2. 事務局体制の強化

(1) 職員の研修会等

県社協で行っている研修会等に、積極的に出席するとともに、足柄上地区社会福祉協議会連絡会主催の職員研修会に出席しました。

3. 自主財源の確保

(1) 一般会費、賛助会費

賛助会員を増やすため積極的に事業所を訪問し、加入促進に努めました。

一般会員	3, 103, 000円
団体会員(19団体)	70, 000円
賛助会員(174社)	726, 000円
合計	3, 899, 000円

(2) 寄付金

寄付件数：32件（内、物品寄付4件）

寄付金総額：1,196,665円

(3) 収益的事業

① 広告料

会社数：11社

広告料総額：245,000円

年間掲載回数：7回（5月、7月、8月、10月、12月、2月、3月号に掲載）

② 自動販売機

設置場所：山北町健康福祉センター1階&3階、ぐみの木公園

収入総額：448,718円（山北町に支払う電気代を除いた金額）

③ マッサージ機

設置場所：山北町健康福祉センターさくらの湯

収入総額：95,700円

④ 有料駐車場

有料駐車場の場所：社会福祉協議会駐車場の一部

契約台数：5台

収入総額：278,000円

4. 広報・公聴・啓発活動の充実

(1) 広報紙「社協やまきた」

広報紙「社協やまきた」を発行（毎月1回、年間12回発行）

社協事業（地域福祉活動）の周知や実施事業の紹介と報告、福祉情報の提供等を目的として毎月1回発行し、全世帯、賛助会員、関係機関等に配布しました。

(2) ホームページ

広報紙「社協やまきた」及び各地区福祉協議会の広報紙を掲載するとともに、社協事業（地域福祉活動）の周知や、実施事業の紹介と報告などの提供等を行いました。

(3) 社会福祉大会

町民に社会福祉についての意識を高めてもらうことを目的として開催しました。

開催日	場所	内容
2月22日(土)	生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none">・福祉スローガンの発表と表彰・顕彰者の表彰(9名、1団体)・清水地区住民福祉協議会及び三保地区住民福祉協議会の活動発表・講演会 演題：障害者福祉問題 ～障害者だった父から学んだこと～ 講師：橋本大二郎 氏(元高知県知事)

●福祉スローガン

町民の福祉に対する意識の向上を目的として、福祉スローガンの募集と選定を行い、受賞者(最優秀賞1名、優秀賞1名)については、社会福祉大会の表彰式にて表彰を行いました。

<応募件数>

小学生：126名(130編)

中学生：199名(199編)

合計：325名(329編)

<最優秀賞>

「あいさつは 気持ちをつなぐ メッセージ」

三保小学校 5年 児玉 頼生 さんの作品